

恵山の火山活動解説資料（令和3年4月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）
監視カメラによる観測では、Y火口の噴気の高さは火口縁上70m以下で、噴気活動は低調な状態です。
- ・地震及び微動の発生状況（図2-②～③、図4）
火山性地震が18日に14回発生しました。その前後で噴気活動や地殻変動に変化はなく、その後の地震活動は低調な状態です。
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2-④）
GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。



図1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（4月24日、^{たかだい}高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

今回の火山活動解説資料（令和3年5月分）は令和3年6月8日に発表する予定です。

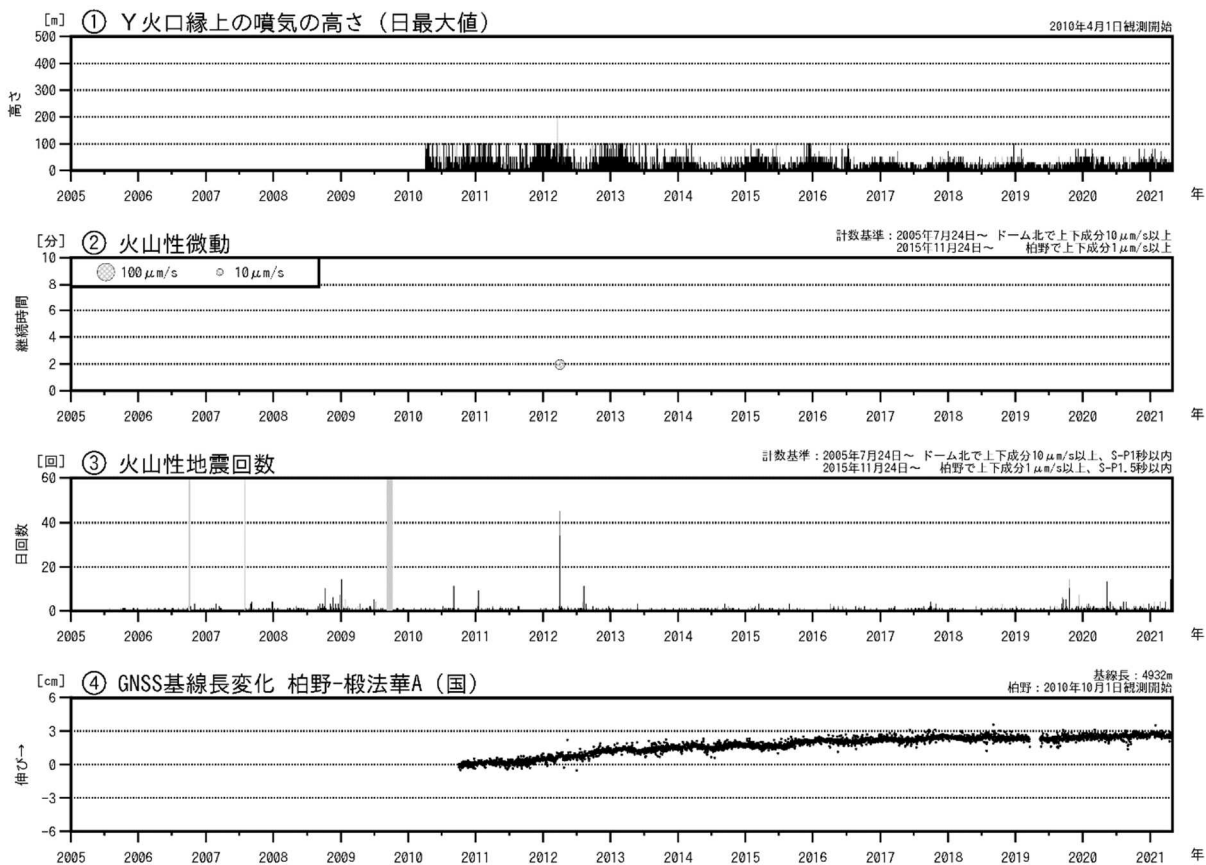


図2 恵山 火山活動経過図（2005年7月～2021年4月）

- ③の灰色の期間は機器障害のため欠測しています。
- ④のGNSS基線長変化は図3の基線に対応しています。
- ④のGNSS基線長変化の空白部分は欠測を示します。
- ④のGNSS基線長変化は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

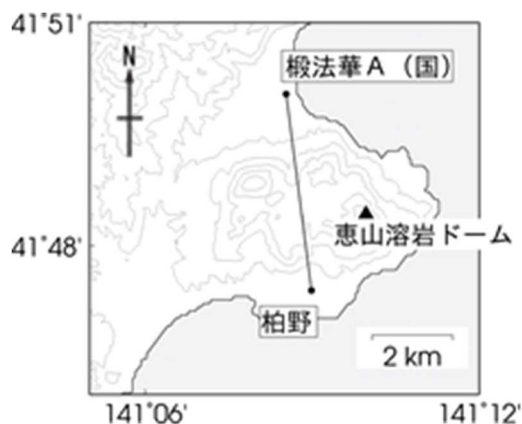


図3 恵山 GNSS連続観測基線図

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
（国）：国土地理院

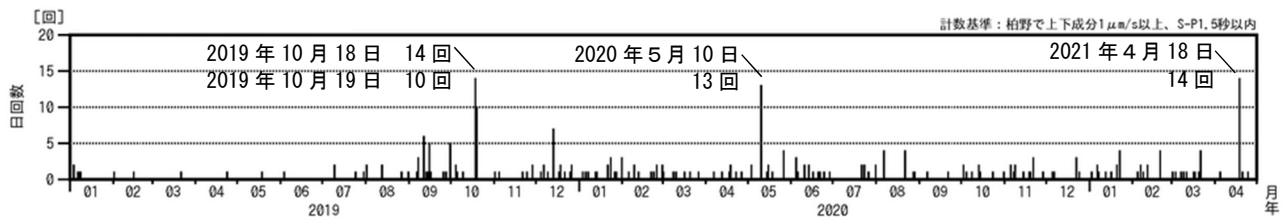


図4 恵山 日別火山性地震回数（2019年1月～2021年4月）
 ・18日に火山性地震が14回発生しました。

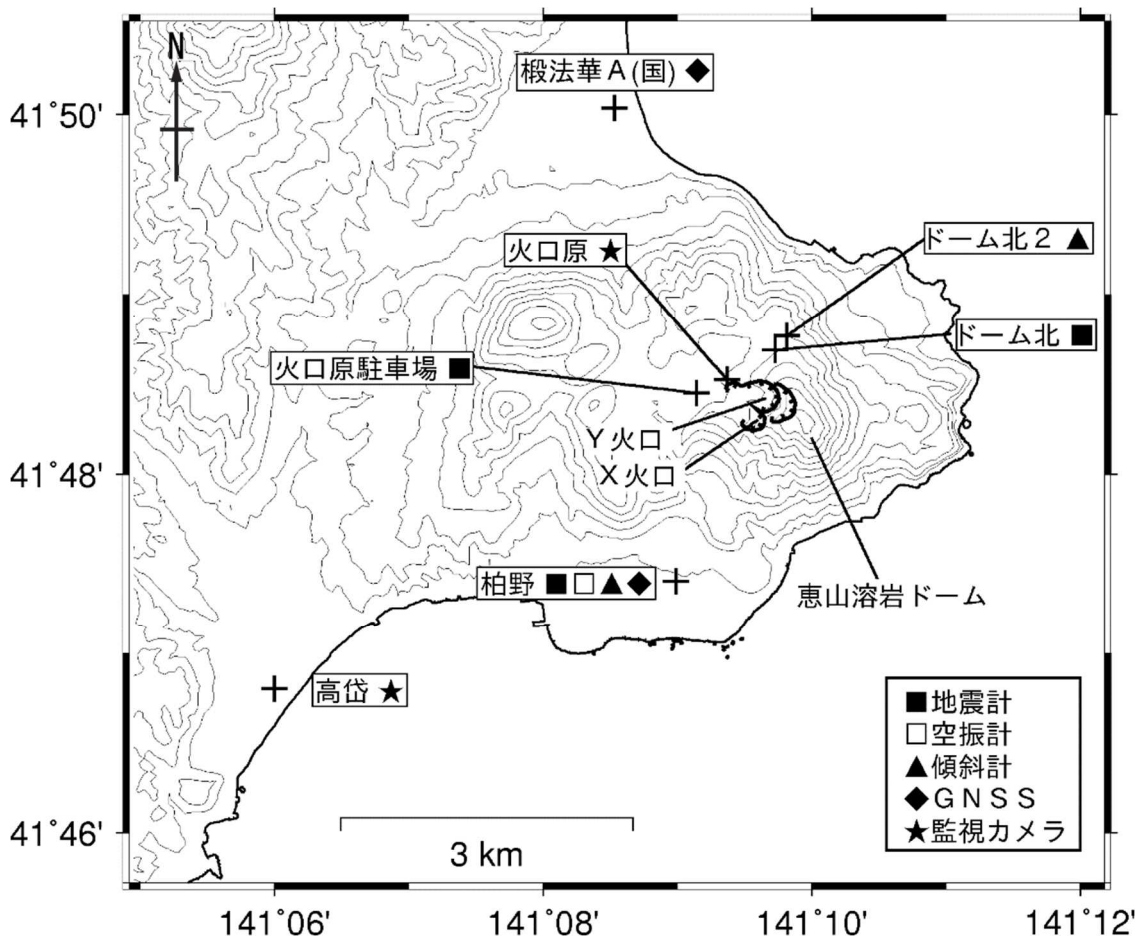


図5 恵山 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します。
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
 (国)：国土地理院